

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

- ◇基本目標 豊かな人間性を持ち、主体的に判断・行動し、自らの向上と社会の発展を目指してたくましく生きる児童を育成する。
- ◇具体目標
- 1 明るく思いやりのある子（思いやり）
 - 2 自ら考え進んで学ぶ子（創造力）
 - 3 元気で、やりぬく子（体力・気力）
- 合言葉「今泉の子 やさしく かしく たくましく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「明るく 楽しく 喜びいっぱい 心のふるさと今泉小」（キャッチフレーズ）の創造
 家庭、地域の信頼と協力の基、誰もが夢や希望を抱き、喜びややりがいをもって生き生きと生活し個々の力を伸長できる、児童、家庭、地域とともに歩む学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 自ら進んで考え、楽しく学び合う人づくり
 ・学習のねらいをより具体化・明確化する工夫と、地域教育力の積極的な活用
- (2) 当たり前のことが自然にできる人づくり
 ・縦割り班活動（にこにこ活動）の充実と、地域ぐるみのあいさつ運動
- (3) 自ら健康や体力づくりに励み、たくましく生きる人づくり
 ・体育授業や体育的行事等の充実と、家庭との連携を図った食育の推進
- (4) 愛情や誇りを感じ、夢や希望のもてる学校づくり
 ・児童が今泉小のよさを実感し、愛情や誇りのもてる学校経営
- (5) 9年間の学びをつなぎ、地域とともに歩む学校づくり
 ・地域内小中学校、保護者、地域、団体、企業などとの連携・協力体制の構築
- (6) 教職員がやりがいを持ち、いきいきと勤務できる学校づくり

[泉が丘地域学校園教育ビジョン]

望ましい人間関係をつくり、進んで学び合う児童生徒の育成
 ～学びの泉 おもいやりの泉 げんきの泉～

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

- 「地域はみんなの学校」を目指し、地域内小中学校、保護者、地域、団体、企業などとの連携・協力体制を構築し、地域の教育力を生かした教育活動の工夫・充実を図る。
- ・さまざまな「ふれあい」と「学び合い」により、たくさんの「よろこび」を味わうことで自信を深め、個々の力を伸長できる学校づくりをする。
 - ・さまざまな働き方改革の視点から、校内の業務の適正化を目指し、勤務時間を意識した働き方を推進する。

【 学 習 指 導 】

めあてを明確に提示することと振り返りの時間を確保すること、適切な場面で学び合えるようにすることで児童の主体的な学習活動参加を促進し、積極的な自己表現力とコミュニケーション能力の向上を目指す。

◆研究課題（テーマ）「自ら考え進んで学び合う児童の育成をめざして」

～主体的参加を促す授業デザインの工夫（特別の教科 道徳を軸に）～

【 児 童 生 徒 指 導 】

- 家庭・地域・学校園と連携して取り組む安全・安心の学校づくり

～人とのつながりを大切にし、自分の成長を意識できる児童をめざして～

【健康（体力・保健・食・安全）】

- 一人一人の児童が主体的に、楽しく生き生きと活動できる充実した体育授業の展開

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価												
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「私は今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答率90%以上	① 縦割り班活動を充実させ、集会活動、「仲良しタイム共遊」など、いきいきと活動できるように努める。 ② 異学年交流による縦割り班清掃活動等、協力したり助け合ったりする活動の充実に努める。 ③ 発達の段階に応じた係活動や委員会活動、行事を通して学校への帰属意識を高めるようにする。	B	表中数字：上段はH29年度 下段はH30年度 太数字：前年度比±5ポイント 【達成状況】A1（○） <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>97.1</td><td>100.0</td><td>94.6</td></tr><tr><td>97.4</td><td>96.5</td><td>100.0</td><td>91.9</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率が数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今後も継続し、縦割り班による清掃活動等の体験活動を通して、いきいきと活動する児童を育成していく。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	97.1	100.0	94.6	97.4	96.5	100.0	91.9
	教職員	保護者	地域	児童												
	100.0	97.1	100.0	94.6												
97.4	96.5	100.0	91.9													
A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 全体アンケート「先生は、大切なことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答率95%以上	① 教育公務員として自覚を深めるとともに人権意識を高め、すべての児童に公平に接する。 ② 児童個々のよさを見取り、褒めて伸ばすため、学習情報システム等を利用し、全児童を全職員で認め励ます情報交換をするなど、温かい指導に努める。 ③ 日常の研修と風通しのよい職場環境をさらに充実させ、組織で子どもたちを見守っていく。	B	【達成状況】A2（◎） <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>94.8</td><td>100.0</td><td>98.1</td></tr><tr><td>100.0</td><td>92.8</td><td>100.0</td><td>99.0</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率が数値指標を達成し、更に昨年度を上回った。 【次年度の方針】 ・研修等で人権意識を高め児童に公平に接するとともに、風通しのよい職場環境を継続し、問題等には組織で対応していくことを徹底する。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	94.8	100.0	98.1	100.0	92.8	100.0	99.0	
教職員	保護者	地域	児童													
100.0	94.8	100.0	98.1													
100.0	92.8	100.0	99.0													
A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童の肯定的回答率85%以上	① 家庭や地域社会との連携を充実させ、「今泉小のあたりまえ」（挨拶・廊下の歩行・次の準備・身だしなみ・言葉遣い）を指針にさらなる学級指導や全体への児童指導を通して規範意識を高める。特に廊下歩行を重点とする。 ② 「友達アンケート」に「今泉小あたりまえ五か条」のチェック項目を入れ、振り返りをさせることで意識を高める。 ③ 毎月の安全点検や安全指導の徹底を図り、児童が安全で快適に生活できるように努める。	A	【達成状況】A3（▲） <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>97.5</td><td>94.4</td><td>100.0</td><td>85.3</td></tr><tr><td>97.4</td><td>93.2</td><td>100.0</td><td>84.1</td></tr></table> ・教職員の肯定的回答率が高いが、児童の肯定的回答率は昨年度よりやや低くなり、数値指標を下回った。 ・児童が「今泉小あたりまえ五か条」のチェック項目に従って振り返りを行い、挨拶や廊下の歩行等で自己反省をしていると捉えられる。 【次年度の方針】 ・友達アンケートに「きまり・マナー」のチェック項目を入れ、振り返りをさせることで意識を高める。	教職員	保護者	地域	児童	97.5	94.4	100.0	85.3	97.4	93.2	100.0	84.1	
教職員	保護者	地域	児童													
97.5	94.4	100.0	85.3													
97.4	93.2	100.0	84.1													

A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答率95%以上	① 校内研修等で、<u>授業を互いに公開し、互いに高め合いながら授業力の向上に努める。</u> ② <u>ねらいを明確にした分かりやすいきめ細かな授業を工夫し、基礎・基本の定着を図る。</u> ③ 授業の展開や学習形態を工夫し学び合う学習を推進する。 ④ TT による指導や少人数による習熟度別学習を充実させ、個に応じたきめ細かな指導に努める。 ⑤ <u>今泉人材バンクや地域の施設を活用した体験的な学習を推進する。</u>	【達成状況】A4 (○) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>87.0</td><td>100.0</td><td>97.2</td></tr><tr><td>100.0</td><td>84.4</td><td>100.0</td><td>96.8</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率は数値指標を達成した。教職員や地域の肯定的回答率は 100.0%である一方、保護者の肯定的回答率は 84.4%で昨年度を 2.6 ポイントも下回った。 ・保護者にも評価されるような指導法等の具体的工夫を検討する必要がある。 【次年度の方針】 ・学年だより等で、学習内容の単元名だけでなく、学習の様子や取り組みの内容を保護者に発信していく。 ・「一人一授業」公開と校内授業研究会を授業実践研究の中核に据え、互いの授業力向上を図る。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	87.0	100.0	97.2	100.0	84.4	100.0	96.8
教職員	保護者	地域	児童											
100.0	87.0	100.0	97.2											
100.0	84.4	100.0	96.8											
A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答率90%以上	① 「今泉小学校いじめ防止基本方針」のもと、いじめの早期発見・早期対応や全校体制での支援に努める。また、実際に行っているいじめ対策をより積極的に公表するよう努める。 ② 学年だより「友達アンケート」についての記載をして、啓発に努める。 ③ 各教科・道徳・学級活動・日常生活の指導を通し、いじめを許さない児童の育成に努める。	【達成状況】A5 (◎) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>79.7</td><td>93.8</td><td>98.3</td></tr><tr><td>100.0</td><td>86.4</td><td>100.0</td><td>98.7</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率は昨年度を上回り、数値指標を大きく達成した。保護者の肯定的回答率も昨年度を 6.7 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・保護者の数値が昨年度より大きく向上した。今まで同様保護者に周知を図るため、本年度と同様に友達アンケートの実施を学年だよりに記載していく。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	79.7	93.8	98.3	100.0	86.4	100.0	98.7
教職員	保護者	地域	児童											
100.0	79.7	93.8	98.3											
100.0	86.4	100.0	98.7											
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 全体アンケート「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」 ⇒保護者・教職員の肯定的回答率90%以上	① 学校マネジメント評価や学校評価（校内）の結果を検証し、工夫・改善をしながら適正な実施を推進する。 ② 学習指導要領等に基づく授業時間の確保に努めるとともに、年間を通して行事を適切に実施する。	【達成状況】A6 (◎) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>97.1</td><td>100.0</td><td>94.3</td></tr><tr><td>100.0</td><td>97.0</td><td>100.0</td><td>92.5</td></tr></table> ・教職員・保護者の肯定的回答率が数値指標を大きく達成した。 【次年度の方針】 ・次年度も PDCA サイクルの中で学校評価を行い、適切かつ充実した教育活動を実施する。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	97.1	100.0	94.3	100.0	97.0	100.0	92.5
教職員	保護者	地域	児童											
100.0	97.1	100.0	94.3											
100.0	97.0	100.0	92.5											

A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者・地域住民の肯定的回答率90%以上	① 授業参観や学校公開日を設定し、開かれた学校づくりに努める。 ② 学校便り、学年便り、その他各種便りやホームページなどで、継続して情報公開に努め、地域、保護者と課題を共有し課題解決を図っていく。	【達成状況】A7 (◎) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>97.5</td><td>97.1</td><td>100.0</td><td></td></tr><tr><td>100.0</td><td>94.6</td><td>100.0</td><td></td></tr></table> ・保護者・地域住民の肯定的回答率が数値指標を大きく達成した。 ・各種便りやホームページなどでの情報公開により、開かれた学校としての評価を得られたと捉えられる。 【次年度の方針】 ・ホームページの積極的な活用により、継続した情報公開に努める。	教職員	保護者	地域	児童	97.5	97.1	100.0		100.0	94.6	100.0	
教職員	保護者	地域	児童											
97.5	97.1	100.0												
100.0	94.6	100.0												
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者・地域住民の肯定的回答率90%以上	① 今泉小地域協議会を有効活用し、学校運営の充実を図る。 ② コーディネーター等と連携し、<u>地域人材や地域資料を有効活用した教育活動を推進する。また、保護者にもさらにボランティア等の協力を仰ぎ、学校と家庭との連携も強めていく。</u> ③ <u>地域や学校園との連携・協力をより一層推進する。</u>	【達成状況】A8 (◎) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>95.0</td><td>100.0</td><td>91.8</td></tr><tr><td>100.0</td><td>93.5</td><td>100.0</td><td>88.9</td></tr></table> ・保護者・地域住民の肯定的回答率が数値指標を大きく達成した。 【次年度の方針】 ・地域との連携をより一層推進し、教育活動の充実を図っていく。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	95.0	100.0	91.8	100.0	93.5	100.0	88.9
教職員	保護者	地域	児童											
100.0	95.0	100.0	91.8											
100.0	93.5	100.0	88.9											
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」⇒保護者の肯定的回答率85%以上	① 学習効果を高めるために、教材教具などの備品を利用しやすい環境づくりに努める。 ② 壁面や廊下等を活用し児童の作品や参考資料を掲示したり、掲示ボランティアの協力を得たりして、学習や活動の意欲を高める環境づくりを推進する。 ③ 落ち葉清掃、花壇美化活動などを通し、児童と教師がともに環境美化に取り組んで行くとともに花壇ボランティアの協力も得て環境整備に努める。	【達成状況】A9 (○) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>75.0</td><td>93.2</td><td>93.8</td><td>88.0</td></tr><tr><td>74.4</td><td>90.6</td><td>100.0</td><td>89.5</td></tr></table> ・保護者の肯定的回答率は昨年度を2.6ポイント下回ってはいるが、数値指標を達成した。教職員の肯定的回答率は昨年度は一昨年度を7.9ポイント下回り、今年度更に0.6ポイント下回った。 ・環境美化への具体的な取組について検討し、教職員自身の評価を上げていく必要がある。 【次年度の方針】 ・教職員一人一人が整理整頓を心がけ、使った備品を責任をもって返却することを心がける。 ・清掃活動を通して、児童に基本的な清掃用具の扱い方や掃除の仕方等の指導を徹底し、教職員が関わった清掃活動を展開するようにする。	教職員	保護者	地域	児童	75.0	93.2	93.8	88.0	74.4	90.6	100.0	89.5
教職員	保護者	地域	児童											
75.0	93.2	93.8	88.0											
74.4	90.6	100.0	89.5											

A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている」 ⇒児童の肯定的回答率80%以上	① 地域学校園共同開催行事「駅東公園清掃」を計画的・継続的に実施し、中学生との交流を深める。 ② 各種便り等で、相互乗り入れ授業や宮っこチャレンジ・公園清掃等について、積極的に発信していく。	【達成状況】A10 (◎) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>97.5</td><td>85.3</td><td>100.0</td><td>95.2</td></tr><tr><td>100.0</td><td>84.1</td><td>100.0</td><td>87.4</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率は目標は達成したが、昨年度を7.8ポイントも下回っている。 ・児童周知に向けての指導を継続していく必要性がある。 【次年度の方針】 ・昨年度同様に小中の交流を進めていく。	教職員	保護者	地域	児童	97.5	85.3	100.0	95.2	100.0	84.1	100.0	87.4
教職員	保護者	地域	児童											
97.5	85.3	100.0	95.2											
100.0	84.1	100.0	87.4											
A11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。 【数値指標】 全体アンケート「多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている」 ⇒教職員の肯定的回答率85%以上	① 定期的なSCの活用により、保護者への教育相談や児童指導の充実を図り、教員の業務負担を軽減する。 ② 個に応じた配慮を要する際に、かがやきルーム担当者や日本語教室担当者等と連携して指導することで、教員同士の負担感を軽減する。	【達成状況】A11 (▲) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>79.5</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・教職員の肯定的回答率は数値指標を大きく下回っている。 ・教育課程を見直すとともに、教員の業務縮減につながるPDCAを推進する必要性がある。 【次年度の方針】 ・SCの活用やかがやきルーム担当者、日本語教室担当者と連携を密にすることで、保護者対応の負担は軽減されているので、次年度はより積極的に活用し、さらなる教員の業務負担軽減を図る。	教職員	保護者	地域	児童	79.5							
教職員	保護者	地域	児童											
79.5														
A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。 【数値指標】 全体アンケート「多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている」 ⇒教職員の肯定的回答率85%以上	① 学年会やブロック会など話し合いの場を設け、多面的・多角的に問題点を検討し、解決策を見出していく。 ② 学校医を活用した研修会を開いたり、SCと定期的に相談したりして、その専門性を生かした児童指導に取り組む。	【達成状況】A12 (◎) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>94.9</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・教職員の肯定的回答率は数値指標を大きく達成した。 【次年度の方針】 ・学校医を活用した研修会やSCとの定期的な相談を、次年度も実施し児童指導に活かす。	教職員	保護者	地域	児童	94.9							
教職員	保護者	地域	児童											
94.9														
B1 危機管理対策等を充実させる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、安全な登下校、不審者対策等の安全管理に努めている」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答率85%以上	① <u>地域とともに取り組む防災訓練等を充実させる。</u> ② <u>保護者や地域との連携を図り、下校時の見守り等の体制を工夫・強化する。</u>	【達成状況】B1 (○) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>89.5</td><td>100.0</td><td>96.7</td></tr><tr><td>100.0</td><td>87.4</td><td>100.0</td><td>95.1</td></tr></table> ・保護者・地域住民の肯定的回答率は、数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ・今年度の反省を踏まえ、地域と連携を密にし充実した活動を目指す。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	89.5	100.0	96.7	100.0	87.4	100.0	95.1
教職員	保護者	地域	児童											
100.0	89.5	100.0	96.7											
100.0	87.4	100.0	95.1											

教育活動の状況	生徒生活	A13 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童・保護者・教職員・地域住民の肯定的回答率 80%以上	① 率先垂範と児童・保護者への啓発に努める。 ② 児童会主体で、あいさつ運動を計画的・継続的に推進する。 ③ <u>小中一貫学校園と連携したあいさつ運動の推進を図る。</u> ④ 「友達アンケート」にチェック項目を入れ振り返りを行い、児童の自発的なあいさつを促す。 ⑤ 「親子で考えようあいさつ標語」を募集しあいさつへの関心を高める。	A	【達成状況】A13 (▲) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>92.5</td><td>67.1</td><td>100.0</td><td>93.8</td></tr><tr><td>84.6</td><td>69.7</td><td>93.3</td><td>93.6</td></tr></table> ・教職員・地域住民・児童の肯定的回答率は数値指標を達成した。保護者の肯定的回答率は昨年度より 2.6 ポイント上回ったが、数値指標には全く届いていない。教職員の肯定的回答率は昨年度より 7.9 ポイント下回っている。 ・保護者への啓発の仕方を工夫するとともに、児童に対する教職員からの働きかけを一層推進する必要がある。 【次年度の方針】 ・教職員が率先して元気な挨拶を心掛け、範を示す。	教職員	保護者	地域	児童	92.5	67.1	100.0	93.8	84.6	69.7	93.3	93.6
		教職員	保護者	地域	児童												
		92.5	67.1	100.0	93.8												
84.6	69.7	93.3	93.6														
A14 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒児童・保護者・教職員・地域住民の肯定的回答率 80%以上	① 発達の段階に応じ、計画的・継続的に正しい言葉づかいの指導を行う。 ② 家庭との連携を図り児童・保護者への啓発に努める。	A	【達成状況】A14 (○) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>90.0</td><td>74.2</td><td>100.0</td><td>84.2</td></tr><tr><td>87.2</td><td>76.6</td><td>100.0</td><td>81.1</td></tr></table> ・教職員・地域住民・児童の肯定的回答率は数値指標を達成した。しかし、教職員と児童の肯定的回答率はともに昨年度を下回っている。保護者の肯定的回答率は昨年度より 2.4 ポイント上回ってはいるが、数値指標には届いていない。 ・家庭との連携を図りながら目標に迫るような手立てを検討する必要がある。 【次年度の方針】 ・学年だよりを通して、言葉遣いについての呼びかけを行う。	教職員	保護者	地域	児童	90.0	74.2	100.0	84.2	87.2	76.6	100.0	81.1		
教職員	保護者	地域	児童														
90.0	74.2	100.0	84.2														
87.2	76.6	100.0	81.1														
B2 学年・学級経営を充実させ、望ましい人間関係づくりに努める。 【数値指標】 全体アンケート「自分は、友達と仲良く生活している」 ⇒児童の肯定的回答率 90%以上	① クラス単位又は縦割り班で遊ぶ時間を計画的に取り入れ、活動の充実を図る。 ② ふれあい週間等を活用し、児童一人一人と触れ合う時間を確保したり、アンケートやQ-U検査等を活用したりして、問題行動の早期発見・解決を図り、望ましい人間関係づくりに努める。 ③ 定期的に児童指導に関する研修を実施し、共通理解を図る。	B	【達成状況】B2 (◎) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>94.8</td><td>100.0</td><td>96.5</td></tr><tr><td>100.0</td><td>95.9</td><td>100.0</td><td>96.5</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率が数値指標を大きく達成した。 【次年度の方針】 ・昨年度と同様、高い数値であった。昨年度に引き続き、縦割り班での人間関係づくりや、アンケートなどでいじめ等を未然に防ぐ取組を継続していく。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	94.8	100.0	96.5	100.0	95.9	100.0	96.5		
教職員	保護者	地域	児童														
100.0	94.8	100.0	96.5														
100.0	95.9	100.0	96.5														

健康・体力	A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」 ⇒児童の肯定的回答率90%以上	① クラス全員で共遊の時間をとったり、「はばたけ今泉っ子」による各種検定を実施したりするなどして、意欲的・継続的に運動ができるように努める。 ② 体育の授業では、「ミニマム」を中心に各種運動、各領域の基本動作が身に付くようにする。 ③ 本地区は運動ができる環境が十分に整っていないので、家庭でも行える運動等を紹介することで、運動に親しむ素地を作っていく。	A	【達成状況】A15 (▲) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>95.0</td><td>62.1</td><td>71.4</td><td>89.2</td></tr><tr><td>87.2</td><td>65.0</td><td>71.4</td><td>88.7</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率が数値指標をやや下回っている。また、教職員の肯定的回答率も昨年度より7.8ポイント下回っている。更に、保護者・地域住民の肯定的回答率は、数値指標に全く届いていない。 ・家庭との連携を図りながら目標に迫るような具体的手立てを検討する必要性がある。 【次年度の方針】 ・クラス全員で共遊の時間の使い方を各クラスに紹介したり、自ら取り組める運動を廊下に掲示したりして、意欲的・継続的に運動ができるように努める。	教職員	保護者	地域	児童	95.0	62.1	71.4	89.2	87.2	65.0	71.4	88.7
	教職員	保護者	地域	児童												
	95.0	62.1	71.4	89.2												
87.2	65.0	71.4	88.7													
A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」(嫌いな物でも1口は食べている。) ⇒保護者・児童の肯定的回答率90%以上	① 栄養士による授業や家庭との連携を図り好き嫌いをなくすなど健康な生活習慣を確立する。 ② 給食だより・保健だより等の発行を通して食の大切さや健康の大切さを啓発する。 ③ お弁当の日(2回中1回は地域学校園として共通の日)等を活用し食への関心を高める。 ④ 食育チャレンジシートを実施し、親子で基本的な食習慣の定着を図る。	B	【達成状況】A16 (▲) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>87.5</td><td>72.9</td><td></td><td>85.9</td></tr><tr><td>97.4</td><td>80.5</td><td></td><td>92.1</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率が数値指標を上回った。保護者の肯定的回答率は昨年度を7.6ポイント上回ってはいるが、数値指標を大きく下回っている。 ・家庭との連携を図りながら、目標に迫るような手立ての工夫を検討する必要性がある。 【次年度の方針】 ・教職員・保護者・児童ともに肯定回答が向上した。次年度も今年度の取り組みを継続していきたい。	教職員	保護者	地域	児童	87.5	72.9		85.9	97.4	80.5		92.1	
教職員	保護者	地域	児童													
87.5	72.9		85.9													
97.4	80.5		92.1													
B5 児童は、自分の歯に関心をもち、食後丁寧に歯磨きをしている。 【数値指標】 全体アンケート「自分は、食後にいい歯磨きをしている」 ⇒児童の肯定的回答率85%以上	① 歯と口の健康に関する意識を高めるために、学級担任と養護教諭、学校歯科医が連携して、歯磨きに関する授業や保健指導を行う。 ② 保健だよりを定期的に発行するとともに、むし歯のない児童を表彰して歯磨きへの意欲を高める。 ③ 児童保健委員による1・2・3年生への歯磨き指導を実施する ④ 00、60の児童の経過を診るために、臨時歯科検診を行い、治療が必要な児童には治療を促す。	B	【達成状況】B5 (◎) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>97.5</td><td>76.4</td><td></td><td>94.5</td></tr><tr><td>100.0</td><td>76.7</td><td></td><td>95.4</td></tr></table> ・教職員・児童の肯定的回答率は数値指標を大きく達成した。 ・保護者の肯定的回答率も昨年度より0.3ポイント上回っているが、教職員・児童との認識の差が大きいので、家庭につなげるための啓発の仕方を更に検討したい。 【次年度の方針】 ・次年度も今年度の取り組みを継続していきたい。	教職員	保護者	地域	児童	97.5	76.4		94.5	100.0	76.7		95.4	
教職員	保護者	地域	児童													
97.5	76.4		94.5													
100.0	76.7		95.4													

学 習 等	A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的回答率 90%以上	① 自分の考えを発表できるような場を設けるとともに、自己表現とコミュニケーション能力の向上を目指した授業の工夫をする。 ② 地域学校園で作成した「 <u>家庭学習の手引き</u> 」を活用して、児童・保護者に家庭学習について啓発する。 ③ 学業指導を充実させ、体験的学習や問題解決学習を積極的に取り入れ学習意欲の向上に努める ④ 自主学習を奨励し、学年・学級及び一人ひとりの実態に合わせた学習に取り組めるようにする。	B	【達成状況】A17 (◎) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>86.7</td><td>93.8</td><td>94.5</td></tr><tr><td>100.0</td><td>89.9</td><td>100.0</td><td>92.4</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率は昨年度より 2.1 ポイント下回ったが、数値指標を達成した。 ・保護者・地域住民ともに昨年度の肯定的回答率を上回っている。基本的な学習習慣の定着や家庭学習の習慣化を継続して図っていきたい。 【次年度の方針】 ・現状として、自主学習を家庭学習の課題としている。次年度も各学年や学級及び個人の实態に合わせつつ自主学習を取り入れ、自ら取り組み成長するよい環境を促進する。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	86.7	93.8	94.5	100.0	89.9	100.0	92.4
	教職員	保護者	地域	児童												
	100.0	86.7	93.8	94.5												
100.0	89.9	100.0	92.4													
A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童の肯定的回答率 85%以上	① 授業において、基本的な聞く・話す態度、返事や発表の仕方の定着を図る。 ② 友達的话をよく聞いて、互いに認め合う態度や自己肯定感を育てられるよう工夫をしていく。 ③ 学習開始時刻の着席・学習用具の準備・文字を書く姿勢等基本的な学習習慣の定着を図る。	B	【達成状況】A18 (◎) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>90.8</td><td>100.0</td><td>88.9</td></tr><tr><td>100.0</td><td>92.6</td><td>100.0</td><td>88.1</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率は数値指標をやや上回った。 ・教職員の肯定的回答率は 100.0%なので、児童の取り組みに対する教職員の評価について児童に伝える機会を設ける必要があると思われる。 【次年度の方針】 ・授業の折々において、児童の取り組みを肯定的にとらえたコメントを伝える。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	90.8	100.0	88.9	100.0	92.6	100.0	88.1	
教職員	保護者	地域	児童													
100.0	90.8	100.0	88.9													
100.0	92.6	100.0	88.1													
A19 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している」 ⇒保護者・児童の肯定的回答率 80%以上	① 地域でのボランティア活動や行事について、児童・保護者への啓発に努める。 ② 地域学校園共同開催行事「駅東公園清掃」に意欲的に参加する。 ③ 夏のタベ・歩け歩け大会・防災訓練・清掃活動など、地域の行事に進んで参加する。	B	【達成状況】A19 (▲) <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>74.4</td><td>56.8</td><td>85.7</td><td>79.5</td></tr></table> ・保護者・児童ともに肯定的回答率は数値指標を下回った。特に保護者の肯定的回答率は数値指標を 23.2 ポイントも下回っている。 ・児童と地域住民との関わり方について、保護者や児童に周知するための工夫を図る必要性がある。 【次年度の方針】 ・学校だよりや地域協議会だより等を通して、身近な地域の行事として周知するようにする。	教職員	保護者	地域	児童					74.4	56.8	85.7	79.5	
教職員	保護者	地域	児童													
74.4	56.8	85.7	79.5													

	B3 学びあう学習の推進 【数値指標】 全体アンケート「勉強は、友達と学びあいながらして、分かりやすく楽しい」⇒児童の肯定的回答率 85%以上	① 学びあう「場」や「時間」を学習の中に設定し実践に努める。 ② 「読む・聞く・話す・書く・伝える」とともに「友達の考えを受け入れる」等の活動をさらに充実させる。	【達成状況】B3 (◎) <table border="1"> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>93.7</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>92.1</td></tr> </table> ・児童の肯定的回答率は数値指標を大きく達成した。 【次年度の方針】 ・今年度に引き続き、教職員が授業実践研究にて学び合う場を設定し、主体的で対話的な児童の深い学びを目指す。	教職員	保護者	地域	児童				93.7				92.1
教職員	保護者	地域	児童												
			93.7												
			92.1												
本校の特色・課題等	B4 自分の学校のよさを実感し、自校への愛情や誇りがもてる。 【数値指標】 全体アンケート「学校のよいところや自慢できることを知っている」⇒児童の肯定的回答率 80%以上	① 学校・学年行事等で児童の活躍できる場を充実させ、充足感のある学校経営に努める。 ② 学校のよいところ、自慢できるところを縦割り班活動や創立 90 周年の諸活動を通して、具体的に実感できるように努める。	【達成状況】B4 (○) <table border="1"> <tr> <th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr> <tr> <td>97.4</td><td>87.6</td><td></td><td>83.5</td></tr> <tr> <td>97.3</td><td>86.3</td><td></td><td>83.3</td></tr> </table> ・児童の肯定的回答率は数値指標を達成した。 ・教職員と保護者・児童との肯定的回答率に大きな差があるので、愛校心を育むような働きかけを検討していく必要がある。 【次年度の方針】 ・「特別の教科 道徳」と関連付けて学校への愛情を育む。 ・学校だよりや学年だよりを通して、児童の活躍の場を発信していく。	教職員	保護者	地域	児童	97.4	87.6		83.5	97.3	86.3		83.3
教職員	保護者	地域	児童												
97.4	87.6		83.5												
97.3	86.3		83.3												

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

○今年度も設定した数値目標が達成された項目が多かった。地域住民については、ほとんどの項目で肯定的回答率 100.0%の結果である。また、教職員については、あいさつ・言葉遣い・運動の項目がやや低下したが、他は昨年を上回るか同程度であった。保護者と児童については、昨年の肯定的回答率と同程度かやや低下した項目が多かった。しかしながら、児童の日常の様子やアンケートの全体的な結果等を総合すると、本校の教育は今年度も適切に進められていると考えられる。

- ・児童は明るく素直で、落ち着いた学校生活を送っている。進んで発言や話し合いを行い、積極的に学習している。友達とも仲良く生活したり、学び合ったりしている。
- ・教職員は教えるべきことを熱心に指導し、学校の教育課程は適切に実施されている。
- ・保護者や地域住民は、学校教育にさまざまな場面で連携・協力してくれている。

○アンケートで保護者の肯定的回答率の低かった項目は、あいさつ・言葉づかい・放課後の運動・地域でのボランティア活動や行事参加・歯磨きであった。今年度初めて項目に入った地域でのボランティア活動や行事参加以外については、昨年度を上回ってはいるが、とても大切なことなので、学校では教育活動全体において、今後も折に触れ指導を続けていく。また、これらの項目は、大人である教職員・保護者・地域住民の子どもに対する関わり方が大切な項目でもある。成果向上に向けて学校からの各種便り等で情報発信をしたり、学級懇談会で話し合ったり、参観日に向上を目指す内容の授業を公開したり、親学講座を設定したりして、重点的に取り組んでいく。

6 学校関係者評価

アンケート結果で課題（達成状況が不十分）と思われた項目について下記のように話し合った。

1 あいさつについて

- ・児童のあいさつは難しい現状である。児童は校内ではよくあいさつができていながらも関わらず、学校の外ではできない。地域的な環境から知らない人にはあいさつをしないという実情もある。
- ・夜寝るのが遅いにも関わらず、朝は早く起きなければいけないので、登校時はぼんやりしていて元気に登校する児童は少ない。
- ・保育園の立場として、保育園では家庭での保護者のあいさつが大切と感じている。A13の時と場に応じたあいさつができるかの設問では、保護者の肯定的回答率がかなり低い。「時と場に応じた」というのはどういう場面を指すのか問題の

意味が分からないのではないか。

- ・以前、あいさつが上手にできた子どもたちにあげていた「あいさつシール」を復活させてはどうか。

2 放課後の運動について

- ・休み時間に子どもたちはよく遊んでいる。放課後は遊ぶ時間がない。公園でも子どもの姿は見かけない。
- ・質問の内容として不適切ではないか。

3 地域でのボランティア活動や行事参加について

- ・ボランティアは、一人一人自覚しないとできないので難しい。
- ・地域行事にはぜひ保護者も一緒に参加してほしい。なるべく PTA に参加してほしいと思い、試行錯誤しながら計画している。1年に1回でも親子で参加してもらえよう、あきらめずに声掛けをしていきたい。
- ・防災訓練にも親子で参加してほしい。教育講演会も、学校に来ているのでぜひ参加してほしい。

4 その他

- ・いじめ対策の取組に対する評価はアップした。
- ・「好き嫌いなく食べる」の項目も大幅アップし、食育の様々な取組効果があったと思われる。
- ・どの項目についても、今後も家庭・学校・地域で連携した指導が大切である。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

うつのみや学校マネジメントシステムのアンケートでは、今年度も全体的に肯定的回答の割合が高く、保護者や地域の方から一定の評価が得られたものと考えている。平成31年度（2019年）もさらなる教育活動の充実を目指し、特に下記のことを重点的に取り組んでいく。

- ・「明るく 楽しく 喜びいっぱい 心のふるさと今泉小」を目指し、学校と家庭・地域との連携・協力を深めながら、ふれあいや体験活動をさらに充実させ、知・徳・体のバランスの取れた児童育成に努める。
- ・児童が喜びややりがいをもって生き生きと生活し、個々の力を伸長できる学校づくりに努める。

○校内研修だけでなく地域学校園での相互研修等を充実させ、教職員の指導力・授業力の向上を図る。

○あいさつや言葉遣い・食育・運動については、引き続き地域学校園や地域協議会活動の中核とし、保護者との連携を密にしながら取り組んでいく。